

ヒト胚性幹細胞・ヒトiPS細胞・ヒト組織幹細胞に関する

生命倫理委員会 議事録 (26-2) 要旨

日 時：平成 26 年 9 月 17 日 書面による審議

回答者：委員長・福田恵一

委 員・青木大輔，三村將，仲嶋一範，洪実，佐谷秀行，櫛島次郎，
谷川暎子，加々美博久，唐澤貴夫，東嶋和子，鈴木則宏

申請者・末岡浩（産婦人科学）

1. 研究課題の新規申請

産婦人科学教室 末岡浩 准教授より「人工多能性幹細胞（iPS 細胞）による染色体異常症及び配偶子形成異常に関わる遺伝子変異と配偶子形成機序の解明に関する研究」に関する使用計画書ならびに、倫理審査申請書他関係書類が医学部長へ提出された。

医学部長は、「ヒトES細胞の使用に関する指針（平成22年文部科学省告示第87号）」第13条に基づき確認を行い、同時に慶應義塾大学医学部ヒト胚性幹細胞・ヒトiPS細胞・ヒト組織幹細胞に関する生命倫理委員会（以下、委員会という）への確認および意見聴取に関する依頼をおこなった。

本審査依頼に基づき委員長は、委員会内規第7条1項の規定により、本委員会を開催し、本申請につき審議することとした。平成26年6月27日の審議において「保留（再審査）」の判定となったため、改めて持ち回りの審議が行われた。

1 課 題

「人工多能性幹細胞（iPS 細胞）による染色体異常症及び配偶子形成異常に関わる遺伝子変異と配偶子形成機序の解明に関する研究」

2 議 事

産婦人科学教室 末岡浩 准教授より、新規の研究課題「人工多能性幹細胞（iPS 細胞）による染色体異常症及び配偶子形成異常に関わる遺伝子変異と配偶子形成機序の解明に関する研究」について審査依頼があり、書類審査により審議を行った。

審議の結果、12名の委員（福田恵一，青木大輔，三村將，仲嶋一範，洪実，佐谷秀行，櫛島次郎，谷川暎子，加々美博久，唐澤貴夫，東嶋和子，鈴木則宏）は承認とした。

3 判 定

審議の結果，承認とした。

以上